平成２９年度青果物輸出特別支援事業報告書（平成３０年度実施）
（産地と輸出事業者が連携する販売促進活動の支援）

１．取組名：カナダ向けかんしょ販促活動

２．実施期間：平成３１年１月～平成３１年３月

３．対象国：カナダ

４．実施場所：カナダ（ﾌﾞﾘﾃｨｯｼｭｺﾛﾝﾋﾞｱ州他）

５．店頭販促活動内容：

カナダ向けかんしょについては、平成 29 年度から本格的な輸出を開始した。

日本産かんしょは、複数品種をリレー的に出荷することで周年的な供給が可能かつ、高品質な日本産青果物が恒常的に商品棚に並ぶことで、他の日本産青果物への日本産ブランドの波及効果も期待される。

現地で主に出回っている米国産の SWEET POTATO は、スープの具材やフライにして砂糖をまぶすなど、日本とは異なる調理方法で食べられている。これまで店舗付属のキッチン等で焼き芋に調理したかんしょの試食宣伝会を数回実施しており、輸入業者や量販店バイヤー、試食した消費者から、食味や香りなど高評価を得ている。

今回、日本から専用の焼き芋機を輸送し、店頭で調理・試食を行いながら日本産かんしょの特徴である、食感や糖度を引き出す調理方法を、消費者に直接ＰＲすることで、他国産との差別化を図り、消費者の購買意欲の喚起を図った。

日本から輸送した焼き芋機を 31 年 1 月から店頭で稼働させ、試食宣伝会を店頭で随時実施した。また、調理食品を販売できない青果物専門店でも、焼き芋機と同様の方法で調理した焼き芋の試食品を提供した。

焼き芋機を使用した試食宣伝会

青果物専門店での試食宣伝会

試食宣伝会での消費者の食味への反応は良好であり、店内に焼き芋の香りが広がることで、視覚だけでなく香りでも直接消費者に訴えかける焼き芋機を使った試食宣伝の方法は、店舗担当者からも好評であった。試食宣伝会の効果もあり、量販店から輸入業者への追加注文の連絡が複数回あったことで、宣伝会を実施した店舗では、焼き芋の食味が現地で受入れられているように考えられる。

今後は、焼き芋機の台数増加及び取り扱い店舗の増加に向けて売り込みをかけるほか、キッチンが備え付けられている店舗に対しても、調理品を中食用テイクアウト商品で提供できるような販売形態をとれるよう、提案を行うことで輸出数量増加を図る。

以上